



(注1) 本図中の数値は実効線量当量または実効線量で記載。
 (注2) 自然放射線の量については、呼吸によるラドンの効果を含めた場合の値。

・2000年版の原子放射線の影響に関する国連科学委員会報告
 ・放射線医学総合研究所調べ
 ・ICRP Pub 60
 より作成